

# 働く障がい者が、心をこめてつくった商品の販売会



2017

# ナイスハートバザール

in



## 障がい者の工賃向上を目指して

障がい者福祉サービス事業所では、障がいのある方々の就労支援を通じて、障がい者の自立・社会参加の促進のため、自主商品の開発や販売活動に積極的に取り組んでいます。

11月18・19日の両日、イオンモール盛岡（1F共用通路）で「2017ナイスハートバザールinいわて」が開催されました。本バザールは、県内事業所がともに手を携え、商品のPR及び販売を行うことにより、事業所商品の販路拡大・障がい者の工賃向上を図るとともに、県民に障がい福祉に対する理解を深めていただき、障がいのある方々の社会参加を促進することを目的としています。

## 26事業所が自慢の商品を出展

8回目となる本バザールには、26事業所のスイーツ、パン、コーヒー、手芸品、農産物など約240品目が並びました。どの商品も事業所、施設職員、専門アドバイザーらが連携・開発した自信作です。

商品の中には東日本大震災の実体験から生まれた5年間保存可能な災害備蓄「もしもの備え」（企画：@かたつむり、デザイン：北上アビリティセンター、販売：岩手県社協。グッドデザイン賞受賞）のほか、「農業」と「福祉」の連携で生まれた地域の県産品や加工品を紹介する「ノウフクマルシェ」や、徳島県授産施設商品コーナーも設けられました。

また、盛岡医療福祉専門学校生徒ボランティアによる「工作コーナー」や「カリンちゃん&くるりんちゃん・じゃんけんチャレンジ」が会場を盛り上げ、親子連れに人気でした。

## 「ノウフクマルシェ」商品メニュー・レベルともにアップ

県社協障がい者福祉協議会就業部会の久保田博部会長は「就労支援事業所の商品の販路拡大と、利用者工賃の増額を目指した本フェアは8回目となりました。農業と福祉の連携「ノウフクマルシェ」で収穫したりんごや、それらを素材に開発した新商品など、メニューもレベルも格段とアップしました。今後の市場方向性を探り、さらに工夫を凝らしながら、販路拡大と利用者工賃の増額を目指したい」と話しています。

評でした。事業所職員の対応ばかりでなく、盛岡医療福祉専門学校生徒ボランティアがフェアを盛り上げました。共同受注センターでも受発注の橋渡しを通して販路拡大を目指していきたいと意欲的に話しています。



久保田 博 部会長



## 参加事業所

- のびやか丸（盛岡市）
- ヒソブ工房（盛岡市）
- となんカナン事業所（盛岡市）
- わ〜くす城南（盛岡市）
- ファーム仁王（盛岡市）
- あすなる園（盛岡市）
- 盛岡市立しらたき工房（盛岡市）
- みやこワークステーション（宮古市）
- @かたつむり（大船渡市）
- こんびりベーカリーチャイ（花巻市）
- ちゃい星ヶ丘工房（花巻市）
- 菓子工房 夢舎夢舎（花巻市）
- 花工房さ〜ら（花巻市）
- 松風園（花巻市）
- 北萩寮（北上市）
- みずき園（久慈市）
- 石上の園（遠野市）
- 宝蓬館（一関市）
- すてつづ（奥州市）
- えさしふれあい工房（奥州市）
- 多機能型事業所わかさ（奥州市）
- みたけの園 工房「来夢」（滝沢市）
- みのりホーム（滝沢市）
- けやき学園（紫波町）
- シャローム（一戸町）
- カナン牧場（一戸町）

主催：岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会、  
共同受注センター、いわて障がい者就労支援振興センター  
共催：認定NPO法人難民を助ける会  
後援：岩手県 協力：イオンモール盛岡

